環境保全活動

有限会社エコ・マテリアルは、平成24年4月に優良産業廃棄物処理業者認定制度における産業廃棄物処分業の優良業者の認定を取得し、弊社「環境方針」に基づいて次の通り環境保全活動に取り組んでいます。

1. 「資源循環型社会」の実現を目指し、リサイクル（再資源化）事業を最優先に位置付けしています。

2. 関係会社と提携し、特に廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず及び金属くずのリサイクル処理システムを確立し、リサイクルの拡大を推進しています。

3. 紙の再資源化については、製紙メーカーの西日本衛材株式会社等関係企業と提携し、再生原料の調達から再生製品の販売までの紙のリサイクルシステムを構築した。特に機密書類のリサイクルの推進に努めています。

4. 平成15年5月にISO14001の認証を取得し、リサイクル活動を促進するとともに、地球に優しい環境作りのため従業員全員で環境保全活動に取組んでます。

5. 環境目的・目標については、3年周期の環境実施中期計画を策定し、改善に取組んでいます。現在の環境実施中期計画（第三次；2012年度～2014年度）の目標項目は次のとおりです。

（1）廃プラスチックのマテリアル・リサイクル率の向上

「廃プラスチックリサイクルの推進」を環境目的に、廃プラスチックのリサイクル（セメント原料・燃料、ボイラー燃料及び廃プラスチック再生原料等の再資源化）の推進を図るとともに、総リサイクル量に対する廃プラスチック再生原料に供するマテリアル・リサイクル量の比率を「廃プラスチックのマテリアル・リサイクル率」と定義し、その改善に取り組んでいます。改善のポイントは、新たな再生原料の選択と国内販売ルートの開拓にあります。

（2）車両燃費の向上

「車両排ガスの削減」を環境目的に、収集運搬車両の消費燃料1ℓ当りの走行距離を「車両燃費」と定義し、その改善に取り組んでいます。改善のポイントは、如何にして燃料効率の良い運転をするかで、デジタル式運行管理システムによる全車両（トラック）の運行管理、低排出ガス・低燃費車の導入、アイドリングの廃止、運転者による車両毎の燃費記録の管理などにより改善に努めています。

（3）燃料効率の向上

「化石燃料の使用量削減」を環境目的に、燃料使用量1ℓ当りの廃棄物処分量（Kg）を「燃料効率」と定義し、収集運搬車両、構内荷役車両及び設備稼働で使用した燃料の総使用量で廃棄物総処分量（総排出量）を除した数値を「燃料効率」とした。

改善のポイントは、前項の車両燃費の改善のみならず、構内荷役車両の燃費の改善及び仕事量（処分量）増加のための作業効率の改善等にあります。